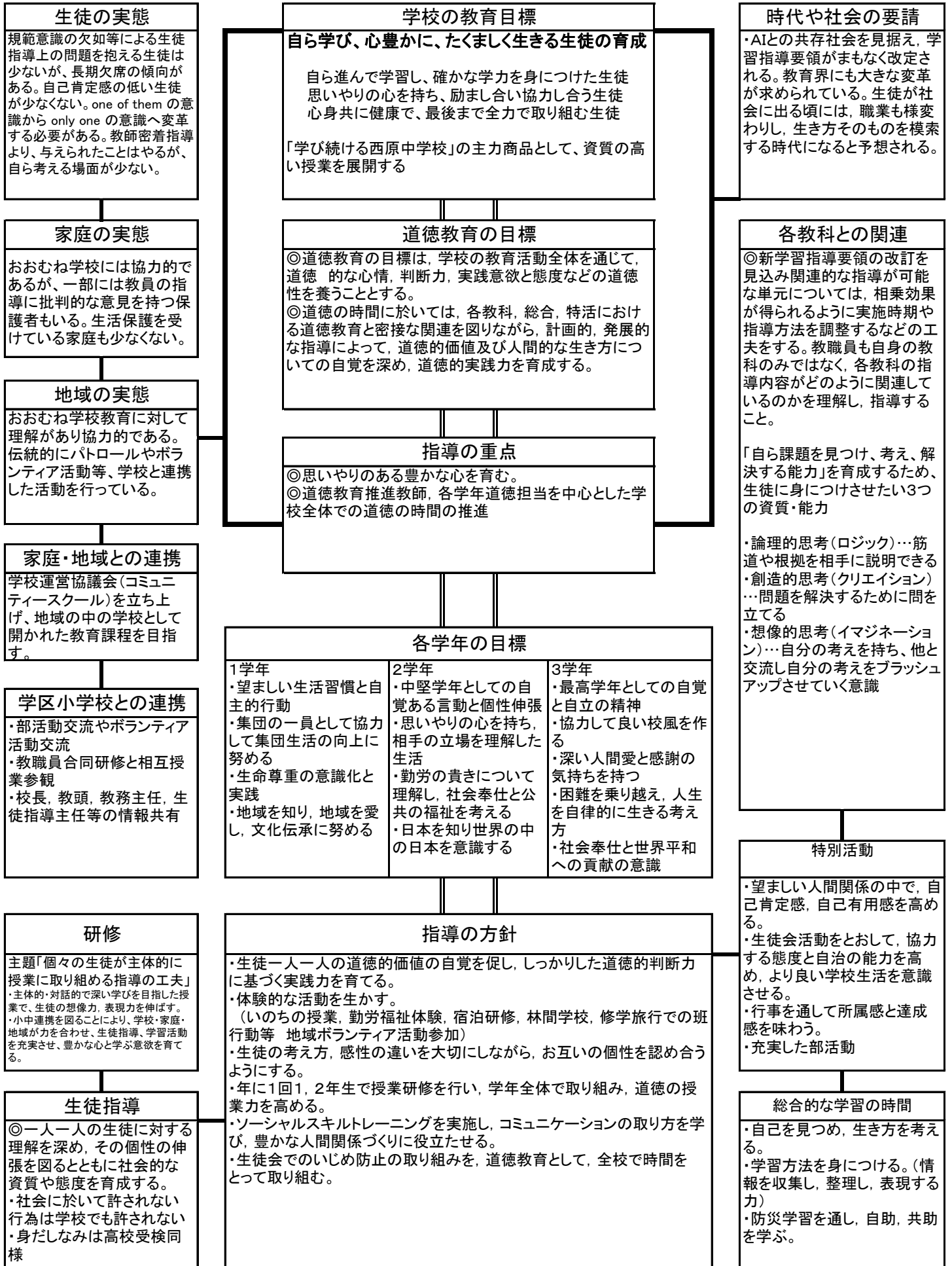


平成31年度道徳教育全体計画

柏市立西原中学校



生徒の実態

規範意識の欠如等による生徒指導上の問題を抱える生徒は少ないが、長期欠席の傾向がある。自己肯定感の低い生徒が少なくない。one of themの意識から only oneの意識へ変革する必要がある。教師密着指導より、与えられたことはやるが、自ら考える場面が少ない。

家庭の実態

おおむね学校には協力的であるが、一部には教員の指導に批判的な意見を持つ保護者もいる。生活保護を受けている家庭も少なくない。

地域の実態

おおむね学校教育に対して理解があり協力的である。伝統的にパトロールやボランティア活動等、学校と連携した活動を行っている。

家庭・地域との連携

学校運営協議会(コミュニティスクール)を立ち上げ、地域の中の学校として開かれた教育課程を目指す。

学区小学校との連携

- ・部活動交流やボランティア活動交流
- ・教職員合同研修と相互授業参観
- ・校長、教頭、教務主任、生徒指導主任等の情報共有

研修

主題「個々の生徒が主体的に授業に取り組める指導の工夫」
 ・主体的・対話的で深い学びを目指した授業で、生徒の想像力、表現力を伸ばす。
 ・小中連携を図ることにより、学校・家庭・地域が力を合わせ、生徒指導、学習活動を充実させ、豊かな心と学ぶ意欲を育てる。

生徒指導

◎一人一人の生徒に対する理解を深め、その個性の伸張を図るとともに社会的な資質や態度を育成する。
 ・社会に於いて許されない行為は学校でも許されない
 ・身だしなみは高校受検同様

学校の教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成

自ら進んで学習し、確かな学力を身につけた生徒
 思いやりの心を持ち、励まし合い協力し合う生徒
 心身共に健康で、最後まで全力で取り組む生徒

「学び続ける西原中学校」の主力商品として、資質の高い授業を展開する

道徳教育の目標

◎道徳教育の目標は、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。
 ◎道徳の時間に於いては、各教科、総合、特活における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって、道徳的価値及び人間的な生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。

指導の重点

◎思いやりのある豊かな心を育む。
 ◎道徳教育推進教師、各学年道徳担当を中心とした学校全体での道徳の時間の推進

各学年の目標

1学年	2学年	3学年
<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活習慣と自主的行動 ・集団の一員として協力して集団生活の向上に努める ・生命尊重の意識化と実践 ・地域を知り、地域を愛し、文化伝承に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅学年としての自覚ある言動と個性伸張 ・思いやりの心を持ち、相手の立場を理解した生活 ・勤労の貴きについて理解し、社会奉仕と公共の福祉を考える ・日本を知り世界の日本の日本を意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年としての自覚と自立の精神 ・協力して良い校風を作る ・深い人間愛と感謝の気持ちを持つ ・困難を乗り越え、人生を自律的に生きる考え方 ・社会奉仕と世界平和への貢献の意識

指導の方針

- ・生徒一人一人の道徳的価値の自覚を促し、しっかりした道徳的判断力に基づく実践力を育てる。
- ・体験的な活動を生かす。
 (いのちの授業、勤労福祉体験、宿泊研修、林間学校、修学旅行での班行動等 地域ボランティア活動参加)
- ・生徒の考え方、感性の違いを大切にしながら、お互いの個性を認め合うようにする。
- ・年に1回1、2年生で授業研修を行い、学年全体で取り組み、道徳の授業力を高める。
- ・ソーシャルスキルトレーニングを実施し、コミュニケーションの取り方を学び、豊かな人間関係づくりに役立たせる。
- ・生徒会でのいじめ防止の取り組みを、道徳教育として、全校で時間をとって取り組む。

時代や社会の要請

・AIとの共存社会を見据え、学習指導要領がまもなく改定される。教育界にも大きな変革が求められている。生徒が社会に出る頃には、職業も様変わりし、生き方そのものを模索する時代になると予想される。

各教科との関連

◎新学習指導要領の改訂を見込み関連的な指導が可能単元については、相乗効果が得られるように実施時期や指導方法を調整するなどの工夫をする。教職員も自身の教科のみではなく、各教科の指導内容がどのように関連しているのかを理解し、指導すること。

「自ら課題を見つけ、考え、解決する能力」を育成するため、生徒に身につけさせたい3つの資質・能力

- ・論理的思考(ロジック)…筋道や根拠を相手に説明できる
- ・創造的思考(クリエイション)…問題を解決するために問を立てる
- ・想像的思考(イマジネーション)…自分の考えを持ち、他と交流し自分の考えをブラッシュアップさせていく意識

特別活動

- ・望ましい人間関係の中で、自己肯定感、自己有用感を高める。
- ・生徒会活動をととして、協力する態度と自治の能力を高め、より良い学校生活を意識させる。
- ・行事を通して所属感と達成感を味わう。
- ・充実した部活動

総合的な学習の時間

- ・自己を見つめ、生き方を考える。
- ・学習方法を身につける。(情報を収集し、整理し、表現する力)
- ・防災学習を通し、自助、共助を学ぶ。

